

令和8年 第7回 定例教育委員会 会議録

日	時	令和8年7月24日（金） 9時30分～11時00分			
場	所	阪南市防災コミュニティセンター1階研修室			
出席者	〈教育委員会〉				
	教 育 長	向 井 説 行			
	教育長職務代理者	八 田 三 紀			
	委 員	辻 雅 之			
	委 員	水 島 浩 子			
	委 員	柴 崎 一 也			
	〈事務局職員〉				
	生涯学習部長	松 下 芳 伸			
	生涯学習部理事	石 原 慎			
	副理事兼中央公民館長	藤 田 学			
	教育総務課長	永 井 隆 祐			
	学校給食センター所長	寺 井 浩 之			
	学校教育課長	両 口 通 寛			
	生涯学習推進室長	秋 山 秀 子			
中央公民館長代理	平 山 富 憲				
事務局	教育総務課主事 宮 坂 怜 来				
書記	教育総務課主事 宮 坂 怜 来				
傍聴者	なし				

会議の要旨

(教育長)

令和8年第7回定例教育委員会を開会する。

本会議は、出席委員が定足数に達しており、有効に成立している。

署名委員に教育長職務代理者を指名する。

◆承認事項第1号「令和8年第6回定例教育委員会会議録について」(教育総務課)

(教育長)

承認事項第1号は、「令和8年第6回定例教育委員会会議録について」であるが、本会議録は、教育委員会会議規則第5条第2項の規定に基づき、委員会の承認が必要である。

意見、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

発言者の呼称について、統一してもらいたい。

(教育総務課長)

確認し、修正する。

(教育長)

他に、意見、質問等はないか。

(全委員)

意見、質問等なし。

(教育長)

承認事項第1号について、先述の修正をもって承認されたものとする。

◆報告事項第1号「後援名義使用許可について」(教育総務課)

(教育長)

報告事項第1号「後援名義使用許可について」教育総務課の報告を求める。

(教育総務課長)

令和8年6月1日から6月30日までの間に教育委員会が後援し、名義の使用を許可した10件について、報告する。

1件目は、一般社団法人せんなん里海ウォーク&ランクラブ主催「～岬町、阪南市、泉南市、泉佐野市をつなぐ～第6回阪南クロスカントリー&ウォークトライアル」である。令和8年12月13日、せんなん里海公園しおさい楽習館付近で、一般の方を対象に、クロスカントリー及びウォーキングイベントが開催される。

2件目は、株式会社近鉄百貨店和歌山店主催「世界の昆虫展」である。令和8年7月30日から8月16日までの期間、近鉄百貨店和歌山店5階催事場にお

いて、一般の方を対象に、カブトムシやクワガタ等の展示、ふれあいコーナー、ワークショップのイベントが開催される。

3件目は、阪南市少年少女合唱団主催「阪南市少年少女合唱団第26回定期演奏会」である。令和8年8月23日、阪南市立西鳥取公民館多目的ホールにおいて、一般の方を対象に、合唱発表会が行われる。

4件目は、関西学院同窓会関空支部主催「関西学院グリークラブ合唱コンサート」である。令和8年9月19日、泉佐野市立文化会館エブノ泉の森ホール大ホールにおいて、一般の方を対象に、合唱コンサートが開催される。

5件目は、阪南市少年軟式野球協会主催「第34回阪南市長旗争奪大会」である。令和8年6月21日から10月31日までの期間、阪南市内のグラウンドにおいて、チーム所属の小学生による少年軟式野球大会が行われる。

6件目は、ぬくもりのたねまき主催「ペンキ画家SHOGEN講演会 in 阪南～人間らしい、を一人一人の心の中に思い出す～」である。令和8年10月30日、阪南市地域交流館体育施設において、一般の方を対象に、ペンキ画家SHOGENさんによる講演会が開催される。

7件目は、ぼれぼれ広場主催「第4回『ぼれぼれ夜店』in 尾崎別院」である。令和8年7月19日、本願寺尾崎別院において、一般の方を対象に、キッチンカー、縁日ブース、音楽ステージのイベントが開催された。

8件目は、社会福祉法人阪南市社会福祉協議会主催「夏休みボランティアDAY2026」である。令和8年7月25日から令和8年8月30日までの間に、阪南市地域交流館、西鳥取漁港、尾崎鉄筋住宅、社会福祉法人さくらデイルーム、ワークセンターぼけっとにおいて、小学5年生から大学生までを対象に、ボランティア体験、地域食堂やカフェのお手伝い、障がい者施設や高齢者施設での交流など、様々なボランティアを体験する。

9件目は、大阪府立青少年海洋センター主催「海洋センターキャンプ2026（冬・春）」である。令和8年10月12日から令和9年3月28日までの間に、同センターにおいて、一般の方を対象に、海洋プログラムを取り入れたキャンプイベントが開催される。

10件目は、大阪府立青少年海洋センター主催「マリンフェスティバル」である。令和8年9月22日、同センターにおいて、大阪府内の青少年とその家族を対象に、カヌーや小型ヨット等のマリンプログラムや、クラフト体験、キッチンカー等のイベントが開催される。

これらの事業は、阪南市教育委員会の後援等に関する規則第2条各号のいずれにも該当するとは認められないことから、名義の使用を許可したものである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(柴崎委員)

2件目の「世界の昆虫展」について、昨年度も同じ場所でイベントを実施していた記憶があるが、後援名義使用許可を行っていたか。また、入場料やワークシ

ヨップの参加料が有料のこのようなイベントについても、後援名義の許可を出すことができるのか。

(教育総務課長)

当該事業は、昨年度、申請がなかったため、後援名義の使用許可は行っていない。また、後援名義使用許可の可否であるが、阪南市教育委員会の後援等に関する規則第2条の規定に基づいて行っており、本市の教育行政の方針に反する事業や営利を主たる目的とする事業など、同条各号に列記しているものに該当する場合は、不承諾となる。当該事業については、申請内容によると、子どもたちが昆虫とのふれあいを通じて、自然を大切にすることを育むことを主な目的としており、同条各号のいずれにも該当するとは認められないことから、名義の使用を許可したものである。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第2号「令和8年度第1回阪南市社会教育委員会議会議録について」 (生涯学習推進室)

(教育長)

報告事項第2号「令和8年度第1回阪南市社会教育委員会議会議録について」生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和8年6月23日に開催した、令和8年度第1回阪南市社会教育委員会議会議録について報告する。案件は、(1)社会教育関係団体への補助金の交付について、(2)中央公民館及び3公民館の活動等について、(3)その他、であった。

詳細は、資料のとおりである。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(辻委員)

文化庁の採択事業である阪南市伝統文化体験プロジェクトについては阪南市教育委員会、阪南市文化協会、皿田能実行委員会の3団体で実行委員会を立ち上げて進めていくと思うが、詳細を教えてください。

(生涯学習推進室長)

文化庁の伝統文化親子教室事業・地域展開型の採択を受け、阪南市の子どもたちに伝統文化の入口を提供し、文化の触れ合いや愛着を育むとともに伝統文化を大切に考えるまちづくりにつなげることを目的に、伝統文化の体験プロジェクトを行う。

皿田能実行委員会や文化協会茶華道部にご協力いただき、実行委員会を立ち上

げ、文化センターや公民館において、茶道・華道の体験や皿田能の体験講座を開催することとしている。

(辻委員)

これまでは皿田能実行委員会が単体で伝統文化親子教室を教室実施型で行っていた。今回、公民館や文化センター等にも協力していただき、地域展開型に移行する新たな取組である。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆報告事項第3号「令和8年度公民館主要事業等について」(中央公民館)

(教育長)

報告事項第3号「令和8年度公民館主要事業等について」中央公民館の報告を求める。

(中央公民館長)

中央公民館事業については、委託事業と自主事業を実施している。各事業の内容については、資料のとおりである。

3地区公民館事業については、各公民館で年間テーマを掲げ、特色を活かした自主講座を企画開催している。各公民館のスケジュールは資料のとおりである。

また、各公民館にて、公民館まつりを開催予定である。新規取組として、近畿大阪高等学校の生徒が各公民館まつりに参加する取組や、各公民館参加クラブが高校の授業の一環として活動を発表する取組を調整中である。

これらの事業について、広報紙をはじめ、市ウェブサイトやSNS、阪南TVなどを活用して多くの市民の方々に積極的に周知していく予定である。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

中央公民館事業の自主事業である阪南市プログラミング教育推進事業であるが、AIがコードを書いてくれる時代となり、自分でプログラミングを書く人よりも、AIに適切な指示を出し、その結果が正しいかを判断できる人の価値が高まっていくと考える。今回の内容は、子どもたちの興味を引くという点で大変意義があると思うが、今後はAIに関する学びも取り入れ、AIを使いこなすための基礎教育としての役割も担っていただけると、より時代に即した事業になるのではないかと。

また、小中学校でのプログラミング教育において、生成AIを活用した学習や、AIを適切に活用するための教育は取り入れられているのか。

(中央公民館長)

今回行っているプログラミング教育の推進事業に関しては、あくまでもデジタル社会への入口という位置づけであり、A Iに関する教育は公民館では対応していない。今後、西鳥取公民館の事業として、A Iに関する講座を予定しており、委員の意見を受けて、講座内容について協議していく。

(学校教育課長)

プログラミング教育について、小学校では「プログラミング的な思考」の育成を目的として、算数、理科、総合的な学習など既存の教科等の中で実施されている。中学校においては、主に技術分野の中で学習している。

生成A Iそのものを活用した学習については、現行の学習指導要領で直接触れられている内容ではないものの、文部科学省のガイドラインに基づき、情報モラル教育や情報活用能力の育成の一環として行っていくものであると考えるが、まずは生成A Iを利活用するためのガイドライン等について調査研究していく。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件①「教育委員会関連行事について」(各担当課)

(教育長)

教育委員会に係る行事等について、その内容と主たる担当課を示している。
各課の報告を求める。

※詳細は資料のとおり

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他案件②「文化センターの主な公演及び公民館の主な行事等について」(各担当課)

(教育長)

その他案件②として、「文化センターの主な公演及び公民館の主な行事等について」各課の報告を求める。

まずは、6月13日に開催された「デビュー15周年記念MOMOギターライブ」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和8年6月13日、サラダホール大ホールにおいて、令和5年に世界最高峰のギターコンテストにおいて日本人女性として初めてチャンピオンに輝いた兵庫県出身のギタリストのMOMOさんによるギターライブを開催した。当日は、クラシックの名曲からオリジナル曲まで幅広い楽曲を披露し、卓越した演奏技術と親しみやすいトークで来場者を魅了した。世界で活躍するアーティストの演奏に触れる貴重な機会を市民の皆様に提供することができ、本市の芸術文化の振興に寄与する事業となった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(教育長職務代理者)

当日の来場者数は何名くらいだったか。

(生涯学習推進室長)

約300名で、サラダホール大ホールが半分以上埋まるくらいであった。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、6月20日に開催された「第39回阪南サラダ寄席」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和8年6月20日、サラダホール小ホールにて、「第39回阪南サラダ寄席」が開催された。上方落語家・桂二豆さんが初出演され、若手らしい軽快な語り口で会場を和やかな雰囲気包んだ後、桂阿か枝さんが上方落語や古典落語の演目の一つである「近日息子」を口演され、仲入り前には、第19回以来の出演となる桂雀太さんが「船弁慶」を熱演された。最後は、桂阿か枝さんによる「竹の水仙」を披露され、盛況のうちに終演した。

今回は11月3日に第40回記念公演として、豪華出演者を迎え、サラダホール大ホールでの開催を予定している。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、6月28日に開催された「バリアフリー映画会『映画すみっこぐらし〜青い月夜のまほうのコ〜』」について、生涯学習推進室の報告を求める。

(生涯学習推進室長)

令和8年6月28日、サラダホール小ホールにて、図書館と文化センターの一体的な事業として実施したバリアフリー映画会は、障がいのある方もない方も一

緒に楽しめるよう、日本語字幕と音声ガイド付きで映画を上映したものである。

当日は、幼児や小学校低学年の子ども達を中心に、多くの家族連れが来場され、定員１００名を大きく上回る１３８名の参加があった。

人気キャラクター「すみっコぐらし」が活躍するアニメ作品の上映に、会場は大いに盛り上がり、幅広い世代の方々に楽しんでいただく機会となった。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(水島委員)

バリアフリー映画会ということだが、障がいのある方はどのくらい来られていたのか。

(生涯学習推進室長)

字幕と音声ガイドが必要な方の事前申込みを取っていないため、詳細は不明である。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、７月１１日に開催された「西鳥取でみんなの縁日」について、西鳥取公民館の報告を求める。

(中央公民館長代理)

令和８年７月１１日、西鳥取公民館にて、「西鳥取でみんなの縁日」が開催された。本事業は今年で３年目を迎え、今年も大盛況であった。

開催の目的は、公民館を拠点として西鳥取校区の各団体と連携・交流を図り、地域の方々を中心としたコミュニティの場を創出することや、かつて街中で親しまれていた夜店や盆踊りといった行事を、子どもたちに体験してもらう場を提供することである。

当日は、地域の団体の協力により、食べ物のブースや浴衣の着付けコーナー、無料のあそびブースなどが出店された。参加人数は一昨年は約２５０人、昨年と今年はともに約４５０人であった。協力団体の皆さんとの打合せにより、様々なアイデアや工夫ができたり、交流が生まれたり、地域に根差した公民館活動の１つになっている。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、７月１１日、１８日に実施された「ノルディック・ウォーク体験」について、中央公民館の報告を求める。

(中央公民館長)

令和8年7月11日、18日、中央公民館にて、「ノルディック・ウォーク体験」が開催された。この講座は、座学による講義と実技を組み合わせ全3回実施するものである。座学では、筋肉と骨の基礎知識とノルディックウォークを行う際の注意点を説明し、実技では、専門インストラクターによるポールの正しい使い方・歩き方、階段歩行、ポールを使った整理体操などを行った。

参加人数は14名で、講師以外にも指導者が3名付き添って実施された。

参加者からは前向きな感想が多く寄せられ、高評価を得ている。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次に、7月18日に実施された「子どもプログラミング講座」について、中央公民館の報告を求める。

(中央公民館長)

令和8年7月18日、中央公民館にて、「子どもプログラミング講座」が開催された。この講座は、プログラミングの楽しさを体験を通じて小さい頃から知ってもらい、将来のデジタル社会を担う人材づくりのきっかけとなることを目的として開催している。親子での参加や小学6年生がひとりで参加するなど、合計11名が受講した。約3時間の講座では、実際にロボットに対し、タブレットを使って動作や音響をプログラミングしてもらった。みんな夢中になって取り組んでおり、体験後の貸出も多く希望があった。同様の講座を他の公民館でも企画中である。

(教育長)

ただいまの報告を受けて、質問等はないか。

(水島委員)

都市部では、お金を払っての習い事としてプログラミングが主流になっていると聞く。プログラミング的な思考や技術に子どもたちから触れられるのは非常にいい機会だと思う。

(中央公民館長)

子どもたちがトライ&エラーを繰り返して、自分で考えながら取り組んでいるのが印象的だった。引き続き開催していきたい。

(教育長)

他に、質問等はないか。

(全委員)

質問等なし。

◆その他（教育長）

（教育長）

続いて、委員から何かないか。

（水島委員）

子どもたちの夏休みの宿題の風潮として変化はあるか。

例えば、読書感想文等は生成A Iを活用する方法も考えられる中、宿題としてはどのように考えているか。

（学校教育課長）

夏休みについては、タブレット端末を持ち帰らせている学校が多い。タブレットでできる学習アプリを使用した宿題と紙媒体で提出するものを併用して設定している学校が多い。

また、読書感想文については、必須の宿題ではなく、選択肢のひとつとしている学校が多い状況である。生成A Iについては、宿題に使用することだけでなく、これから学校教育においてどのように活用するのか、文科省のガイドライン等を参考に、利活用に関するガイドライン等について考えていく。

（水島委員）

教育長の意見もお伺いしたい。

（教育長）

私としては、子どもたちも「好き」なことに没頭して欲しいと思っている。好きなことは主体的になり、上手いかなくても自ら原因を探し、また改善のための試行錯誤が行われる。1年の中で40日近くも自分のやりたいことをやれる時期は夏休みしかない。料理、虫、スポーツなど、対象はどのようなものであれ、自分の「好き」に没頭してもらいたい。

（教育長職務代理者）

読書感想文について、生成A Iを使わないよう指導するのではなく、生成A Iを使ってもいいが、そのまま提出ではなくて、間違っている箇所がないか等を自分で考え、確認できるようになるための指導も必要ではないか。

（学校教育課長）

委員がおっしゃるとおり、これからの時代、生成A Iを使用しないという選択肢はないだろうと思う。そのため、生成A Iに丸投げするのではなく、自分のしたいこと、自分が意図する物事を実現するために、どのような指示を生成A Iに出すとよいのか、適切な指示を出す力や、生成A Iが出した回答等を鵜呑みにせず検証することなどができるよう、適切な利活用のために調査研究を進めていく。

（教育長）

他に何かないか。

（柴崎委員）

小中学校の体育館の空調設備について、昨年度、市長が各小中学校の児童生徒から要望を聞く機会があり、体育館の空調設備設置の声が多かったと思う。その後の経過はどうなっているか。

(教育総務課長)

委員がおっしゃるとおり、阪南市総合計画の中期基本計画を策定するに当たって、市長が市内中学生、小学6年生と交流会を実施した。子どもたちからは、「小中学校の体育館にエアコンを付けてほしい」といった意見も多く、この内容は計画に掲載されているところである。教育委員会事務局としても、近年の酷暑から児童生徒の健康を守り、教育環境を改善することは、喫緊の課題であると認識していることから、令和8年度当初予算において、小中学校体育館空調設備整備に向けた設計業務委託料を要求し、市長復活要求まで行ったが、市全体の施策の優先性などを踏まえ、残念ながらゼロ査定となったところである。しかし、3月定例会など、市議会での議論も踏まえ、4月に市長から前向きな検討を進めるように指示があり、整備内容を検討しているところである。市長部局と協議・検討を行い、可能な限り早い時期に設計委託料を計上できるよう取り組んでいきたい。

(柴崎委員)

市長自身が「子ども子育て真ん中のまち」を掲げる以上、本件は優先して取り組むべき課題かと思う。子どもたちから話を聞いて終わり、ではなく実際に施策に反映させ、着実に進める必要がある。財政非常事態宣言も解除された現在、子どもたちの思いを受け止めてあげてほしい。

(生涯学習部長)

大阪府内の他の自治体の状況を見ても、小中学校体育館の空調設備の設計にとりかかっていないのは、本市を含め2自治体のみである。空調が整備されていないことから、本市の小中学校の体育館が中学生のスポーツの大会等の会場にもならず、試合が出来ないという問題もある。市長もこのような状況は把握しているが、泉南清掃工場の建て替え工事などで財政状況としては厳しい現状である。教育委員会事務局としては、様々なところから要望も受けており、他の事業より優先してとりかかりたいと考えている。

(柴崎委員)

子どもたちの命や健康を守るのはもちろんである。指導者を守ることに繋がると思うので、ぜひとも進めていただきたい。

(教育長)

子どもの命に関わる問題であるため、喫緊の課題であると認識しており、早期の事業着手が必要であると考えている。そのため、近隣自治体の事例調査として、設備内容の聞取りや現地調査を行うとともに、電気やガスといった空調方式のそれぞれの特徴を踏まえ、整備内容を検討しながら、導入コストやランニングコストのシミュレーションを重ねているところである。

(教育長職務代理者)

空調整備に限らず、整備には設計と工事で2年必要となる。少しでも早く始めないと整備が最後となる学校は設置されるまで時間がかかる。体育館の空調整備に関連して、小中学校の整理統合について、教育長の考えをお伺いしたい。

(教育長)

本市の小中学校の整理統合については、平成18年策定の小中学校の整理統合計画にのっとり、尾崎小学校と福島小学校の統合に始まり、尾崎中学校と鳥取中学校の統合まで、山中分校の本校である朝日小学校への統合を含め、5組の整理統合を順次実施し、併せて統合に伴う統合校の施設整備も行ってきた。その後も、少子化が加速度的に進み、適正規模に満たない学校が増加する中で、令和4年から令和6年まで阪南市立学校のあり方検討会を開催し、本市の小中学校をめぐる現状や課題、また、阪南市の目指す教育のあり方について協議を進めてきた。

検討委員会からは、当面の間、現校区で小規模校でのメリットを生かし教育内容の充実に取り組むとともに、デメリットを可能な限り補完しながら現行の学校運営を継続することが妥当と判断するとの答申が出ているが、児童生徒数の減少が進んでいるため、状況把握に努めている。

体育館の空調整備については、体育館は避難所としての利用もあるため、整理統合の予定によらず、現行の小中学校体育館全てに設置できるよう取り組んでいきたい。

他に何かないか。

(柴崎委員)

新任の先生が配置され、他市では新任の先生がしんどくなってしまったというような話も耳にするが、本市の状況を教えてほしい。

(生涯学習部理事)

初任者の授業訪問や、管理職からの報告を聞く中では非常に頑張ってくれている。しんどい状況もあるかと思うが、周りのサポートもあり、本市では休職に入るといふ初任者はいない。

(教育長)

他に何かないか。

(全委員)

質問等なし。

(教育長)

次回の令和8年第8回定例教育委員会は、令和8年8月28日金曜日14時から阪南市防災コミュニティセンター1階研修室で開催したいが、いかがか。

(全員)

異議なし。

(教育長)

令和8年第7回定例教育委員会を閉会する。

以上